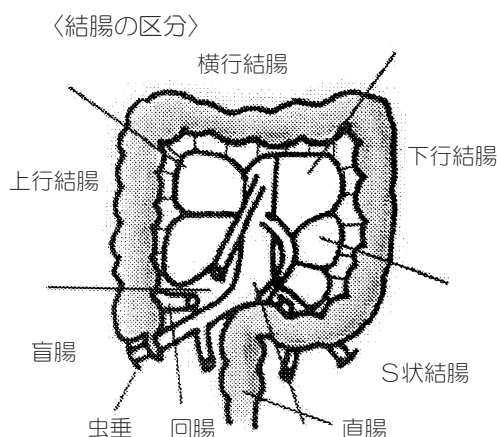


## 大腸癌について



大腸癌は、わが国では食事の欧米化などにより近年急速に増加しています。動物性の脂肪を摂ると、消化を助けるために胆汁酸が多く分泌されます。脂肪の消化の際に発生する物質のなかに発がん物質があり、大腸の粘膜に癌が発生すると考えられています。1994年には2位だった大腸癌の患者数は、2015年では胃癌を抜いて1位になると予測されています。

大腸癌がしやすい部位は直腸とS状結腸で、全体の70%を占めています。直腸は大腸の全体の10%を占めますが、全大腸癌の約50%が発生するほど癌がしやすい場所です。2番目に多いのは便が長い間貯留しているS状結腸です。

### 1. 大腸癌の症状

ごく早期の大腸癌だと、ほとんど症状がでてこないことがあります。しかし、癌が大きくなってくると、下の①～⑧のような症状が現れてきます。

まず日頃から体調をチェックする習慣を身につけ危険信号に早く気づくようにしておきましょう。

①便に血液がついたり、混じったりしている。②よく下痢や便秘になる。③排便をしても、まだ残っている感じがする。(残便感) ④少量の粘液や泥のような便がでて、トイレに何度も通ってしまう。⑤原因の判らない貧血がある。⑥お腹にしこりがある。⑦最近、便が細くなってきた。⑧何となくお腹が張ったり、下腹部が痛い。

### 2. 大腸癌を早期発見するには

早期の大腸癌では自覚症状はなく、ほとんど便潜血を契機に発見されます。便潜血検査(ヒトヘモグロビン法)が陽性である場合は、大腸に癌、ポリープ、痔、憩室などの病気があり出血源となっている可能性がありますので、精密検査が必要となります。精密検査には次の二つがあげられます。

注腸造影検査： 肛門からバリウムと空気を注入してレントゲン撮影する検査です。

全大腸内視鏡検査： 腸の中をきれいにするために下剤をかけます。肛門から盲腸まで内視鏡(スコープ)を挿入して直接観察し、異常があれば大腸粘膜一部をかじりとりて顕微鏡検査で詳しく調べます。(生検)

大腸癌は早い時期に発見すれば、内視鏡的切除や外科療法により完全に治すことができます。少し進んでも手術可能な時期であれば、肝臓や肺へ転移しても、外科療法により完全治癒が望めます。癌の早期発見のためには、自覚症状がない時期にも定期的に人間ドックや検査を受けることをお勧めします。疑問点がありましたら、気軽に専門医におたずねください。

消化器科部長 村山洋子

## 3西病棟がリニューアルしました。

「すこやか」をご愛読の皆様こんにちは。

今回は新しく変わった3階西病棟（産婦人科）をご紹介します。

当病棟では、母児の愛着をより深めることを目的に環境面で大改装を行いました。新生児室の隣に授乳室ができ、落ち着いた雰囲気の中で授乳を楽しんでいただけます。母児同室後も新生児室でベビーをお預かり出来るようになりました。

ただ、新生児室への自由な出入りが可能になった反面、他の新生児や未熟児への感染が心配されます。そのため、12歳以下のお子様については、フロア内でお母様とのご面会は出来ませんが、病棟に入っただけで事が出来なくなりました。ご協力よろしくお願い致します。

心身のリラックスのためにマタニティ・ヨガや産褥ヨガを導入し、また、母子のふれあいを深めるために、ベビーオイルマッサージを行って、今まで以上に母児に優しい病棟を実現しました。

新しくなった産科病棟で、より快適なマタニティライフをお過ごし頂けるようスタッフ一同努力いたしております。皆様のお越しをお待ちしております。

3階西病棟師長 金高敏子



## 新しい眼圧測定器が入りました。

眼圧測定器が更新されました。このノンコンタクトトノメータ・NT-4000についてご紹介いたします。

この眼圧計は、空気圧によって角膜を圧平することにより眼圧を測定する非接触型の眼圧計で、3つの特徴を備えています。

第一に、オートアライメント機能を搭載しており、測定部を瞳孔中心付近に近づけると上下左右のアライメント及び前後のフォーカス合わせを自動的に行います。このため、追加測定も簡易にでき安定した測定が可能です。



第二に、より低い空気圧で測定ができることで、被検者の方に不快感を軽減させることができ、連続測定もスムーズに行えます。

第三に、脈波周期機能という額当て部に設置した検出部から得られる脈波信号に同期して任意の脈波位置で測定を行い眼内脈波によって発生する眼圧変動を考慮した測定が行えます。

以上3つの特徴により測定値が従来の機器より正確でスムーズに眼圧測定が行えます。

現在使用して一ヶ月が経ちました。更新前の機器と比べ医師からは安定した測定値が評価さ

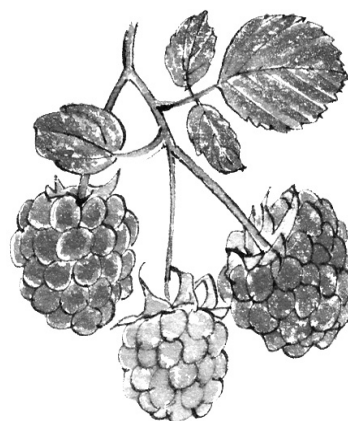
れています。また、患者様からは空気圧が低くなることで検査の苦痛が軽減され好評ですし、さらには、車椅子で来院された患者様には車椅子のままスムーズに検査ができる等、機器設置台も含め、その性能・利便性にスタッフも喜んでいきます。

# 肥満・糖尿病の予防と療法 すこやか外来教室のお知らせ

当院では、肥満や糖尿病の患者様と御家族の方々へ病気の予防や療養生活に少しでもお役に立ちたいと考え、平成15年より外来教室を開催してきました。  
平成17年9月より下記にて再開催させていただきます。

記

日 時：第3水曜日、15時から16時半  
場 所：講堂（当院1階）  
参加料：第4回の栄養指導のみ保険適用になります  
パンフレット代：300円/冊  
申し込み方法：内科外来へ直接お問い合わせ下さい。



## <教室内容と担当者>

		内容と担当者		
第1回	9/21	肥満とは(20分) 医師	身体の調子をみてみよう(60分)全員 身長・体重・体脂肪・へそ周囲・血圧・血糖測定など	
第2回	10/19	糖尿病とは？ (20分) 医師	日常生活の工夫(40分) シックデイと低血糖について 看護師	血糖測定 (10分) 看護師
第3回	11/16	肥満・糖尿病の 検査(20分) 検査技師	糖尿病の薬(30分) 薬剤師 インスリン注射を疑似体験	患者会の紹介 (10分) さつき会会長 血糖測定 (10分) 検査技師 看護師
第4回	12/21	食事療法(20分) 栄養士	運動の基礎と実際(50分) すわろピクス(イスに座って運動) 理学療法士	血糖測定 (10分) 看護師

肥満・糖尿病医療推進委員会

医師の人事異動が下記のとおりありましたので、お知らせいたします。

退職（17年6月30日）	
内 科	小 松 隆 之
脳 神 経 外 科	藤 本 康 裕
整 形 外 科	十 河 英 司